

2000年9月13日

いすゞ 小型トラック「エルフ」のLPG車に
積載量2～3トンクラスを新規設定

いすゞ自動車(株)は、小型トラック「エルフ」のLPG(*)車に、標準キャブで積載量2～3トンクラスの車両を新規設定し、9月13日より全国一斉に発売する。

(* Liquefied Petroleum Gas = 液化石油ガス)

いすゞは、1998年に発売し、市場から好評を得ている積載量1.5トンクラスの「エルフ」LPG車に、今回、積載量を拡大した2～3トンクラスの車両を新規設定し、幅広いユーザーニーズに対応できる車型展開とした。

LPG車は燃焼過程で発生するNOx(窒素酸化物)、HC(炭化水素)などの大気汚染物質を大幅に低減することができ、黒煙が発生しないという特性を持っている。また、LPGはタクシーの燃料としても多く使用され、燃料補給設備などのインフラが比較的整備されている。さらに、LPGは液体のため車両搭載性が良く、一充填当たりの走行距離も実用的なことなどから、需要が増加傾向にある。

主な車両特長は次の通り：

- (1) 定評のある「4HG1型」ディーゼルエンジンをベースに、「4HG1-LPG型」エンジンを新開発した。小型トラックに搭載されるLPGエンジンとしては、クラストップの最高出力[92kW(125PS) / 3200rpm]、最大トルク[356N・m(36.3kg・m) / 1600rpm]を発生し、耐久性、信頼性もディーゼルエンジンベースゆえの高性能を実現した。排出ガス値は、ディーゼル車の平成10年排出ガス規制値に対し、NOx、HCを約95%、黒煙を約100%と大幅に低減した。
- (2) 補助ブレーキ「電磁式リターダ」を標準装着し、高速道路や長い下り坂はもちろん、市街地でも高い制動効果を発揮し、制動能力の大幅な向上を図った。
- (3) SRSエアバッグ付衝撃吸収ステアリングホイール、及びロードリミッター付シートベルトを標準装備し、前面衝突時のドライバーへのダメージを軽減するなど、安全性の向上を図った。
- (4) 塵芥車に171リットルの大容量LPGタンクを標準装着し、1充填当たりの走行距離の延長を図った。

<目標販売台数> エルフ LPG車（積載量2～3トンクラス） 300台/年

<エルフ LPG車 東京地区希望小売価格>（消費税含まず）

車型	エンジン	主な仕様	東京地区希望小売価格
KK-NKR71ER -5JMXA-L	4HG1-LPG 92kw (125PS)	3トン積み 標準キャブ 標準ボディ 平ボディ	3,119,000円
KK-NKR71EP -5EXY-L	4HG1-LPG 92kw (125PS)	2トン積み 標準キャブ 標準ボディ キャブ付シャシ	2,922,000円

以上